

石川県内灘海水浴場の離岸流調査結果速報

(平成26年6月30～7月3日)

同一地点で規模の異なる離岸流が発生！

石川県内灘海水浴場でシーマーカー、ブイなどにより離岸流調査を行いました。調査の結果、**ほぼ同一の地点において、日によって規模の異なる離岸流が発生**することを確認しました。

離岸流についての説明は、[「離岸流」ってなんだろう？](#)をご覧ください。

調査結果

1 離岸流

6月30～7月2日に調査し、ほぼ同一の地点において日によって規模の異なる離岸流の発生を確認し、最大約20m/分、約60m沖まで流れました。

2 沖合いの流れ

7月1日及び3日にブイを漂流させて調査し、1日は岸と平行に流れた後、岸側に向かう流れ(概ね10～20m/分)、3日は岸に向かって流れた後、岸に沿って蛇行する流れ(概ね5～10m/分)を確認しました。

3 漂流体験調査

当庁職員が実際に離岸流で流される体験調査を行い、離岸流に流されると、気付かないうちに沖まで流されてしまうことがあることを確認しました。

4 その他

監視員やライフセーバーがいる海水浴場を選ぶことも大切です。

また、監視員や地元(海の家など)の方などからの正しい情報で、子供でも安心して遊べる場所を選ぶことも大切です。

海に入る時は、沖へ流されていることに気づくように、周囲を観察するなど、注意しながら遊びましょう

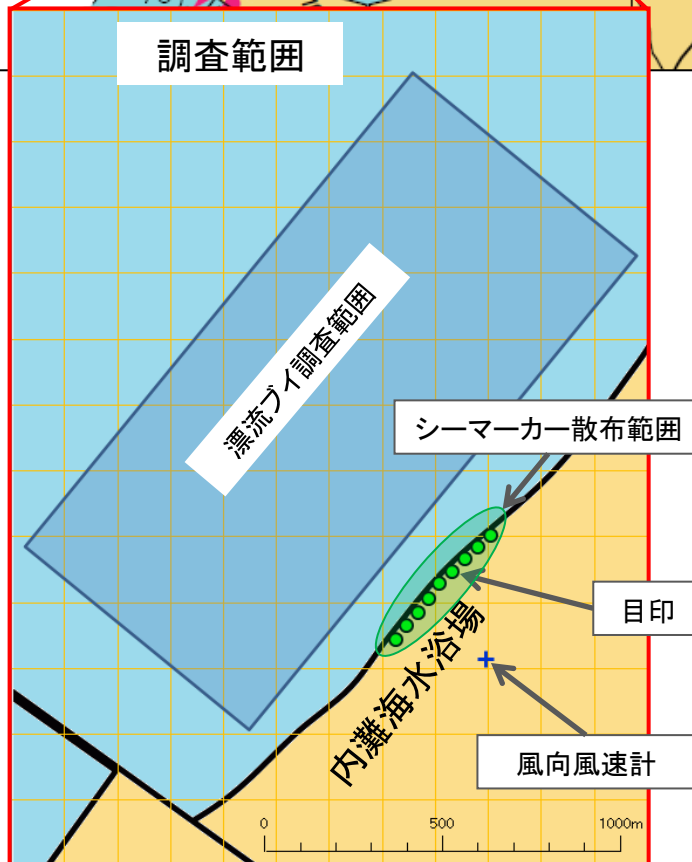
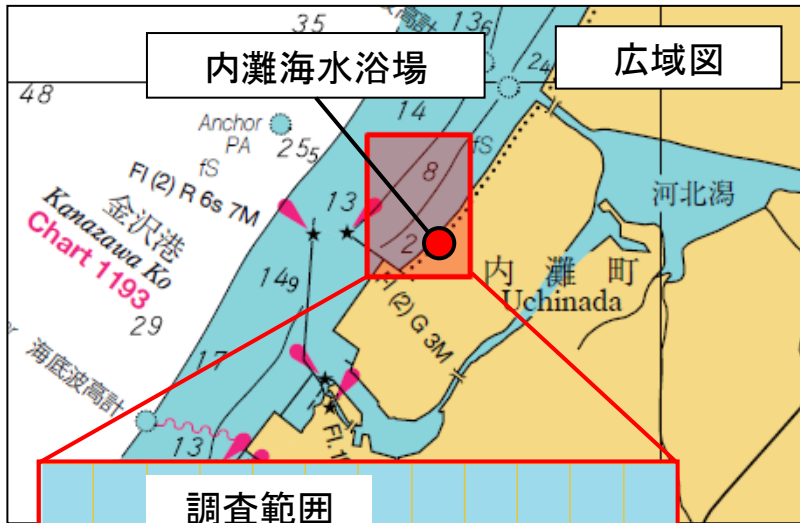
複数で行動し、砂浜等で休憩中の方は、海に入っている仲間を注意して見るようにしましょう。

特に、多くの海水浴客が集まる人気のある海水浴場などは、人混みの中で、子供は保護者を見失ってしまいます。

子供から目を離さないようにしましょう。

[海で安全に楽しく遊ぶために、こんなことに注意しましょう！](#)

調査範囲及び調査方法



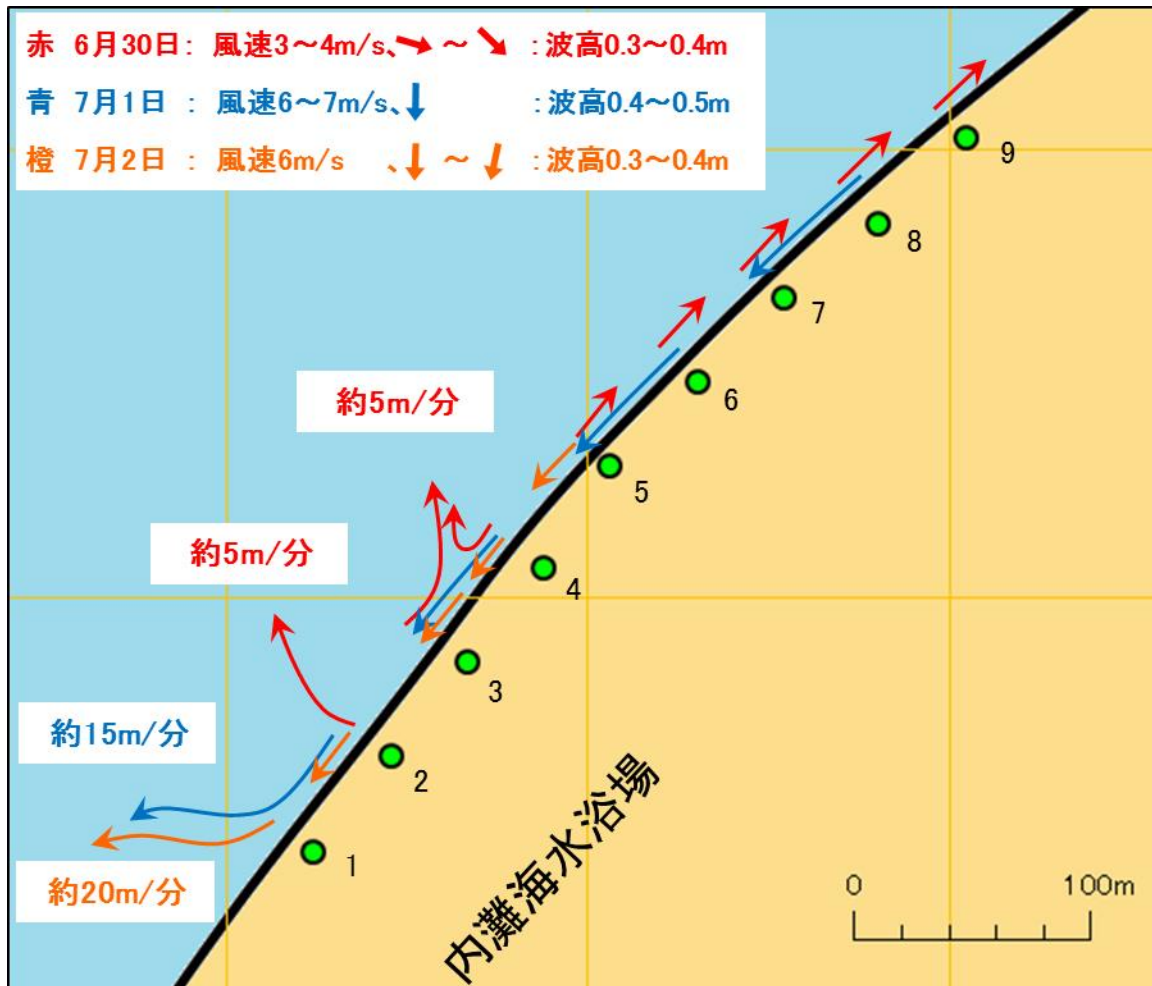
事前に、シーマーカーを散布する際の目印(1~9)を、それぞれ約50m間隔で約400mにわたり設置し、砂浜付近でシーマーカーを散布して離岸流の発生を調査しました。

沖合いの流れを漂流ブイにより調査しました。

また、調査海域付近に風向風速計を設置して風の観測を行いました。

6月30日～7月2日の離岸流調査結果

※ 流れを示す矢符はシーマーカーの移動経路を表しています。



6月30日

風：西北西～北西 3～4m/s

波高：0.3～0.4m

離岸流：2箇所で最大約5m/分、約50m沖まで流れた

7月1日

風：北 6～7m/s

波高：0.4～0.5m

離岸流：1箇所最大約15m/分、約40m沖まで流れた

7月2日

風：北～北北東 6m/s

波高：0.3～0.4m

離岸流：1箇所最大約20m/分、約60m沖まで流れた

目印1～2付近において、7月2日に最大で約20m/分の離岸流が観測されたほか、6月30日、7月1日にも離岸流が観測されました。

観測された離岸流の様子

6月30日 目印2付近

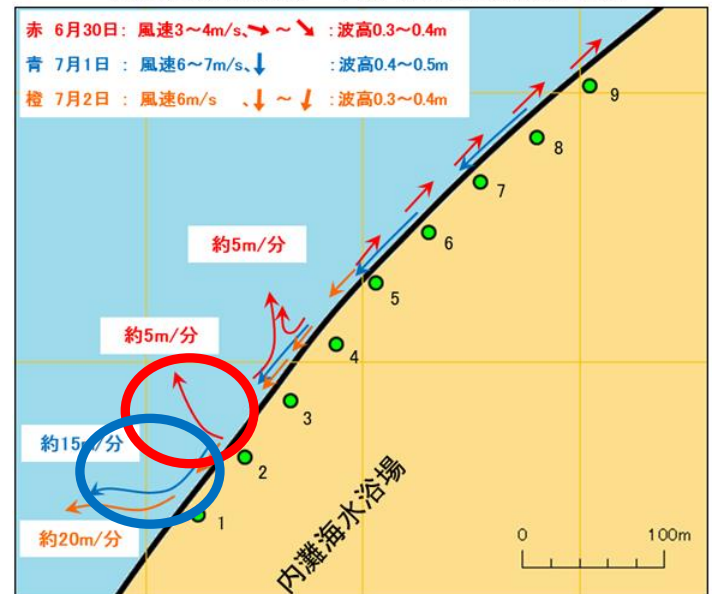


海岸付近にシーマーカーを散布し、シーマーカーで着色した海水の動きにより沿岸の流れを観測しました。

7月1日 目印1付近



※ 流れを示す矢符はシーマーカーの移動経路を表しています。

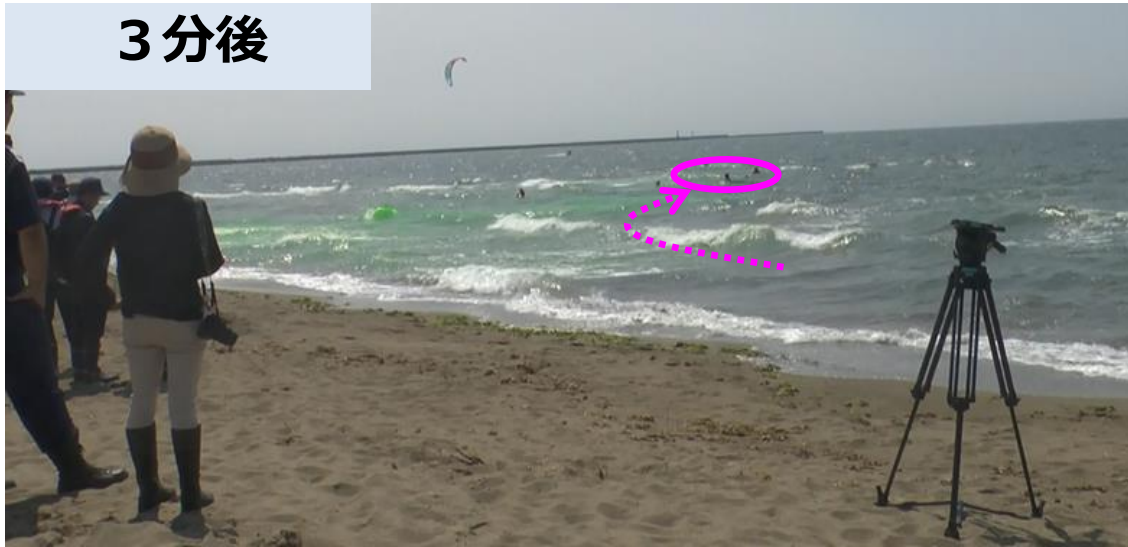


人による漂流実験の様子(7月2日 目印1付近)

漂流開始



3分後



弱い離岸流であっても気付かないうちに流されて、子供や泳力のない人は流れに逆らって泳ぐのが難しい場合があります。

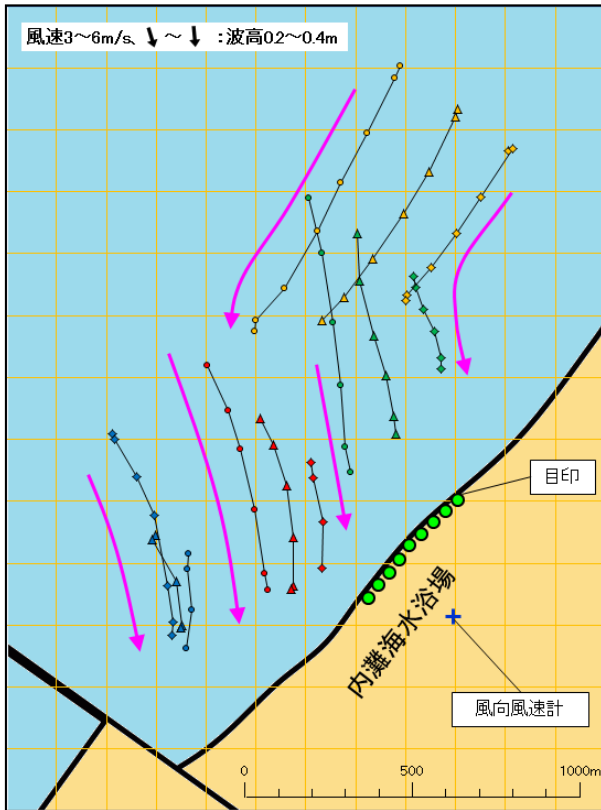
漂流ブイによる沖合いの流れの調査結果(ブイの航跡)

合計3個のブイを、船上から適宜の位置(沖約200m~700mの範囲)で放流・回収し、海水浴場前面の流れを調査しました。

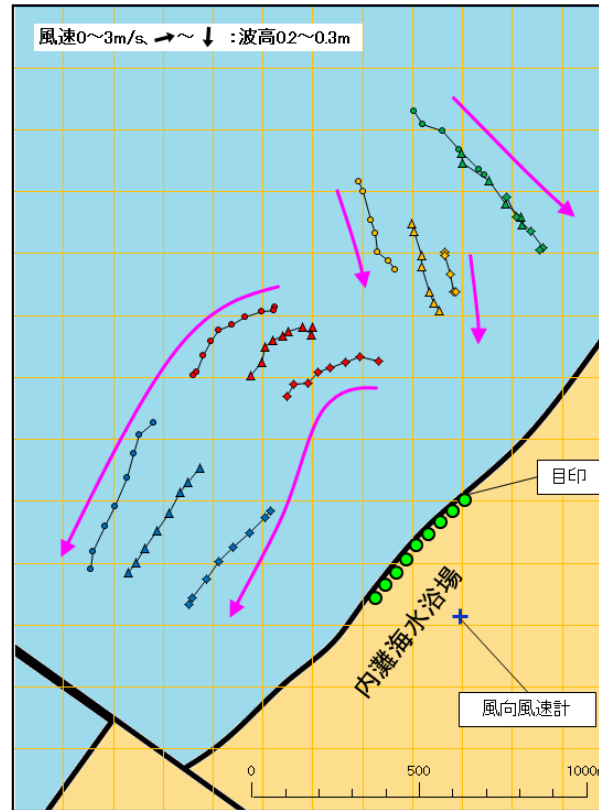
漂流ブイ



7月1日



7月3日



7月1日

調査範囲北側では岸と平行に南西方向に流れ、海水浴場前面付近では岸に向かって南南東~南方向に流れました。ブイの流れる速さは、概ね10~20m/分でした。

7月3日

調査範囲北側では岸に向かって垂直に南東方向に流れ、海水浴場前面付近では蛇行しながら南西方向に流れました。ブイの流れる速さは、概ね5~10m/分でした。